

## 日本骨・関節感染症学会雑誌投稿規定

1. 著者は、日本骨・関節感染症学会会員であることを要し、論文の採否は編集委員会で決定する。やむを得ず非会員のまま投稿する場合は編集委員長の許可を得ること。投稿された論文が本誌に掲載された際には、その著作権は日本骨・関節感染症学会に帰属する。
2. 投稿論文における臨床研究は、ヘルシンキ宣言を遵守したものとする。個人情報の保護に関しては、診断、治療や、疫学を含む病態の理解に寄与する症例情報（性別、年齢等）は明らかにし、患者の名前、イニシャル、病院の患者番号、写真など、個人の同定を可能とするような情報は記載しない。写真を掲載する際には個人情報を含む部分を隠す必要がある。これらのことを配慮しても個人情報の掲載が論文に不可欠な場合には、発表に関する同意を患者自身（または遺族か代理人、小児の場合は保護者）から著者が取得し、論文中に記載するとともに編集委員会へ同意書のコピー（デジタル媒体）を提出する。
3. 論文原稿は次の事項を満たすこと。
  - (1) タイトルページ
  - (2) 200字以内の和文抄録
  - (3) 本文5枚以内
  - (4) 文献10編以内
  - (5) 図表説明文
  - (6) 図・表あわせて10個以内
  - (7) タイトルページを1ページ目としページ下部に番号を付す。
  - (8) 原稿左に通しの行番号を付す。
4. 原稿は原則 Word で作成し1行40字×35行=1400字をもって1枚とし、A4判の横書き原稿とする。
5. タイトルページには、以下の内容を記載すること。
  - (1) 論文の題名
  - (2) 著者名（原則合計8名まで。超過する場合は編集委員長の許可を得ること）
  - (3) 所属
  - (4) キーワード（日本語、英語を併記し3個以内とする）
  - (5) 英文タイトル
  - (6) 著者名の英語表記
  - (7) 所属の英文表記
  - (8) 発表済みの論文は発表学会名（開催回、開催年）（本学会含む）
  - (9) 連絡先の氏名、住所、電話番号、Eメールアドレス

6. 原稿は常用漢字，新かなづかいを用い，学術用語は最新版の「医学用語辞典」（日本医学会編），「整形外科学用語集」（日本整形外科学会編）に従い，句読点は「，」「。」を使用する。年号は西暦を使用すること。固有名詞はすべて固有の文字を，数字はすべて算用数字を使用し，日本語化した外国語はカタカナで，和訳できない外国語・人名・地名などの固有名詞のみ外国語綴りとする。度量衡単位は SI 単位系を用いる（m, cm, mm,  $\mu$ m, l, ml,  $\mu$ l, kg, g, mg 等）。図，表は本文中に引用された順序で，図は（図 1，図 2），表は（表 1，表 2）のように示し，本文中の該当文章の末尾に括弧付で記載する。薬剤名は一般名（日本語）で記載する。

#### 7. 引用文献について

- (1) 論文末の文献欄では，国内，国外を問わず筆頭著者名（姓）を ABC 順に配列し，文献番号をつける。
- (2) 本文中の引用箇所には肩番号を付す。
- (3) 著者名は筆頭名のみで共著者氏名は省略し，「ほか」あるいは「et al」とする。
- (4) 文献の表題は副題を含めて記載する。日本語文献は「－」，外国語文献は「：」で続ける。
- (5) 雑誌の略称は，外国語文献の場合は Index Medicus の省略法に準拠する。日本語文献の場合は，医学中央雑誌刊行会（医中誌）（<https://www.jamas.or.jp/>）の定めた略称を用いる。
- (6) 文献の形式は，次のように統一する。

##### <雑誌>

著者名. 表題. 誌名 発行年；巻数：頁.の順に記す。

例)

Sakai T et al. High survival of dome pelvic osteotomy in patients with early osteoarthritis from hip dysplasia. Clin Orthop Relat Res 2012; 470: 2573-2582.

星 亨ほか. 骨髄炎および感染性偽関節の治療成績. 日骨関節感染会誌 2007；  
21：17-22.

##### <単行本，書籍>

著者名. 表題. 書名. 版. 編者. 発行地：発行者（社）；発行年. 頁.の順に記す。

例)

Lachiewicz PF. Hemophilia and Knee Arthropathy. Surgery of the Knee. 3rd Ed. edited by Insall JN. Philadelphia: Churchill Livingstone; 2001. 1134-1150.

坂井 孝司ほか. ステムのセメントレス固定. 股関節学. 第 1 版. 久保俊一編.

京都市：金芳堂；2014. 934-937.

<その他>

インターネット上で公表されている内容を引用する場合は、そのアクセス日（西暦年月日）と URL を記す（インターネット上の画像を利用する場合は、転載にあたるため著作権者からの許諾が必要）。

8. 図、表などはすべて A4 判の別紙（PowerPoint 等）で作成し、図はそのまま製版できるよう正確、鮮明なものを添付すること。顕微鏡写真にはスケールをつけ、その説明文には倍率を入れる。写真は原則として白黒で掲載する。カラー掲載を希望する場合はその旨明記したものにかぎり実費で掲載する。図の説明文は別紙に一括して掲載順に記載する。他の著作物から引用・転載を行う場合は、必ずその旨を記載するとともに出典を明示すること。また、予め著作権者に許可を得ること。
9. 同一または極めて類似した研究を他誌に邦文論文として掲載済みまたは投稿中など、二重投稿と見なされる場合は基本的にその論文は受け付けない。二重投稿にあたるかどうか明確でない場合、著者は投稿の際に必ず本学会編集委員会に報告する。本学会編集委員会で投稿を許可された場合のみ論文として受け付けるが、投稿論文中には他誌に掲載済みの論文をすべて参考文献として記載する。なお二重投稿とみなされるのは、「著者らがこれまで発表した論文の中に今回投稿論文と同じ題材が含まれている場合」、「別に投稿中の論文に今回投稿論文と同じ題材が含まれている場合」である。一方、「他学会や研究会の抄録や会議録の位置づけとして他誌に掲載されたものを論文として投稿する場合」には二重投稿とは判断しない。ただし、論文の終わりに「この論文は第〇回〇〇学会で発表した。」  
「この論文は〇誌〇巻〇号に学会発表論文として掲載された」などと記載する。また、「新たに投稿する論文に使われているデータベースが、他誌に掲載済みの論文より 50%以上増えているもの」、「同じデータを利用していても、全く別の仮説を証明あるいは否定するために、全く別の観点から分析した論文である場合」も二重投稿とは判断しない。

著者が日本語以外の言語で発表した論文については、一次掲載の雑誌側の投稿規定に沿い、一次掲載誌の編集委員会が許可すれば二次掲載という形で、日本語に翻訳したものを本学会誌に掲載可能であり、一次掲載誌の許可証の提出が必要である。一次掲載の雑誌編集長への連絡、掲載許可などは著者が行い、一次掲載の雑誌の論文は、二次掲載する本学会の投稿論文の文中に参考文献として記載、タイトル、ページ、脚注には以下の文例を使用すること。「この論文は既に掲載された論文である。(題名、雑誌名、発表年、巻号、頁数)」。但し二次掲載の論文は

日本骨・関節感染症学会奨励賞（大正 Award）には応募できない。

本学会誌に掲載された邦文論文を、改めて日本語以外の言語に訳して他の雑誌へ投稿する際は、事前に著者が投稿する雑誌側の許可をとり、本学会編集委員会にその旨を報告する。必要に応じて、本学会編集委員会が二次掲載の許可証を発行する。本学会誌掲載論文の引用方式などは、二次掲載誌の規定に準ずる。

10. 原稿が事務局へ到着した日を受付日とする。
11. 原稿は、完全なものとして送付し、著者校正の際における単なる誤字、脱字の修正以外の加筆、変更は認めない。雑誌に添付されている投稿論文チェック表に、論文指導責任者の署名をもらい、論文と一緒に送付する。著者校正は指定された期限内に行い、速やかに返送すること。
12. 編集委員会は論文中の用語、字句などを著者に承諾を得ることなしに修正することがある。
13. 掲載料は無料（カラー掲載の場合は実費）である。別刷料金は 20 部までは無料とし、以上 10 部増毎に 3000 円とする。
14. 原稿は E-mail で下記宛に送付のこと。

・ 投稿論文送付先

杏林大学整形外科学教室内

日本骨・関節感染症学会事務局

E-mail: [jssbjj@jssbjj.jp](mailto:jssbjj@jssbjj.jp)

Tel: 0422-47-5511（内線 3622） FAX:0422-48-4206

（昭和62年7月 4日 制定）

（平成17年6月25日 変更承認）

（平成21年6月19日 変更承認）

（平成23年7月 9日 変更承認）

（令和6年 7月25日 変更承認）